

水道事業

2024/2/5

京田辺市上下水道事業経営審議会（第2回）

（参考資料：水道の役割等）



- 1. 水道の役割**
- 2. 水道事業の沿革**
- 3. 水道施設の状況**

公衆衛生の向上

常に清潔で安全な飲料水を届けることで、水系感染症（コレラなど）などを予防し、公衆衛生の向上を図る。

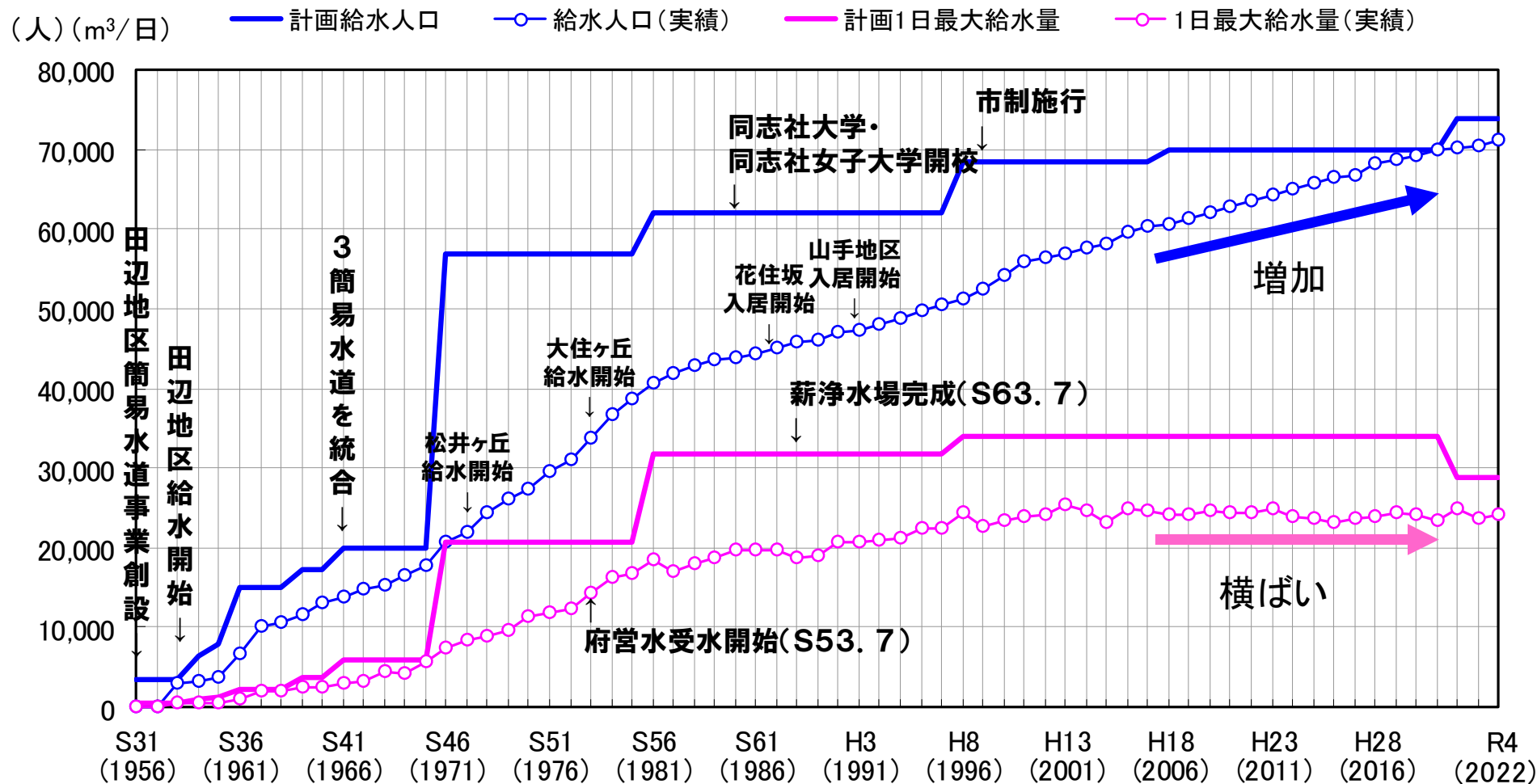
生活環境の改善

炊事、洗濯などに必要な生活用水が安定して供給されることで、生活環境の改善を図る。

※今日では、国民生活や事業活動、都市機能を維持するための社会基盤施設としての役割も担う。

2. 水道の沿革

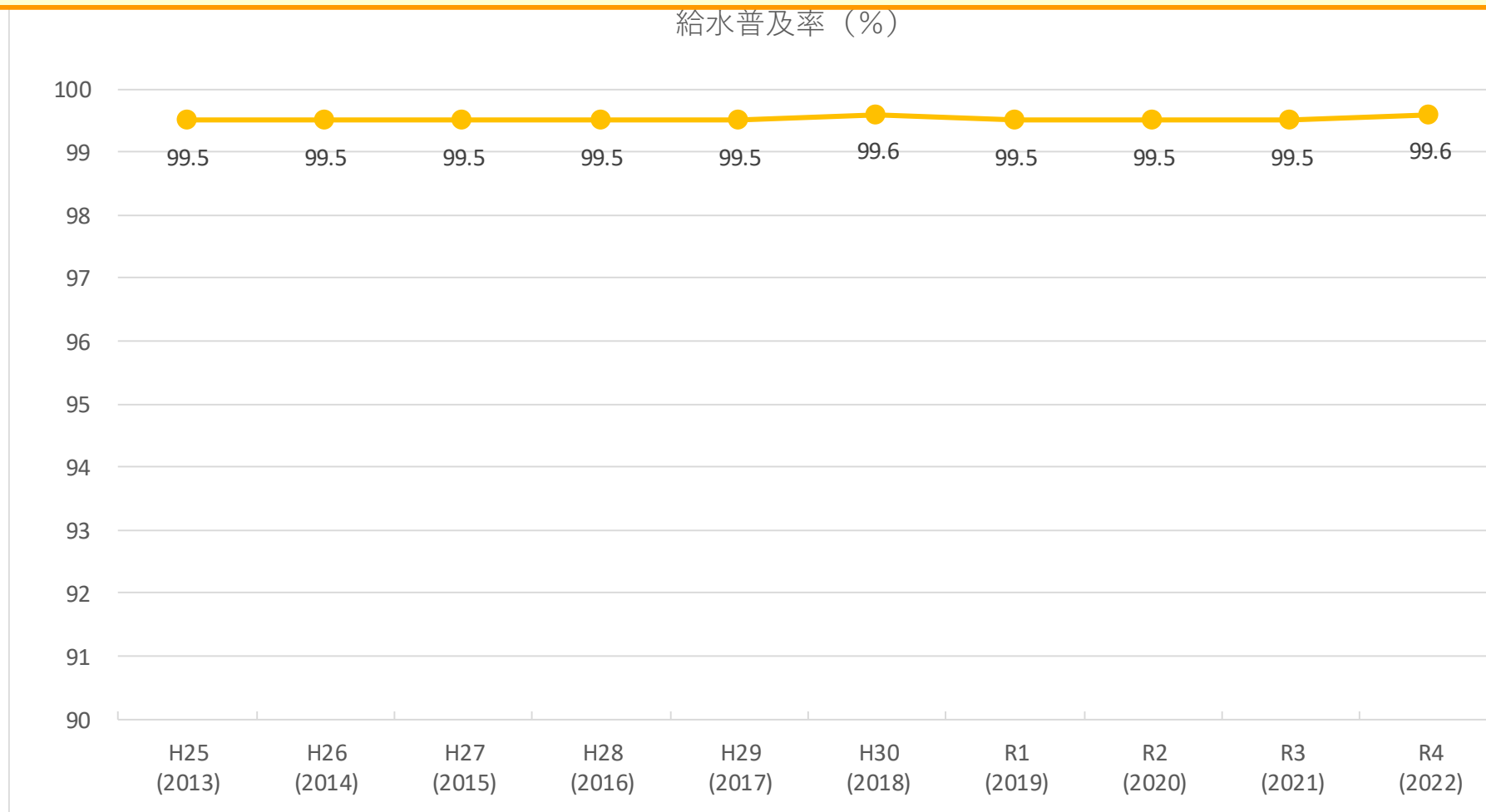
- 給水人口は堅調に増加している。
- 給水量は近年横ばい。



出典：田辺町水道事業統計書(S58.12)、水道統計(社団法人日本水道協会)、京田辺市統計書

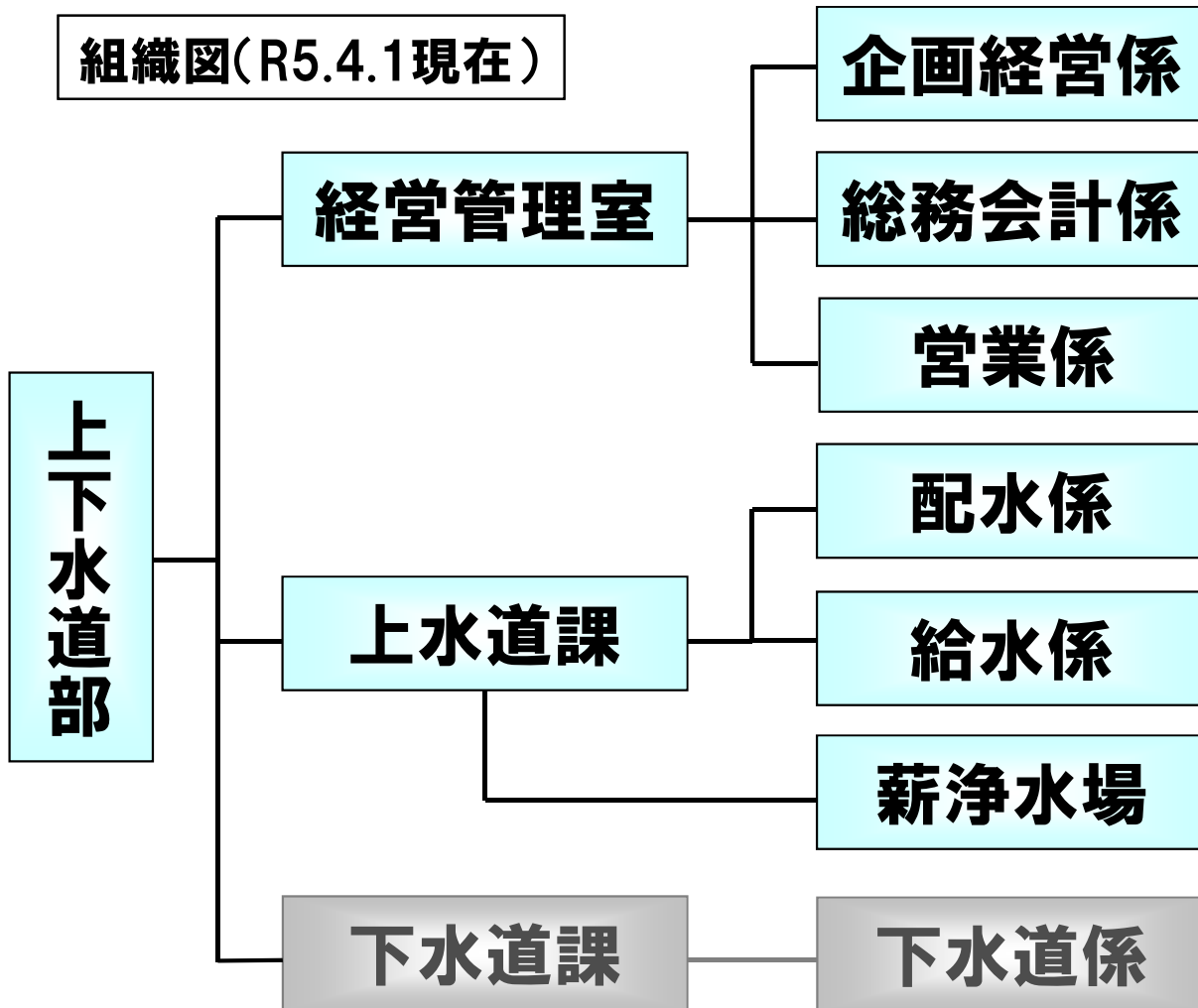
2. 水道の沿革

- 給水普及率は99.5~99.6%と高く、給水区域の概ね全域で上水道が普及している。

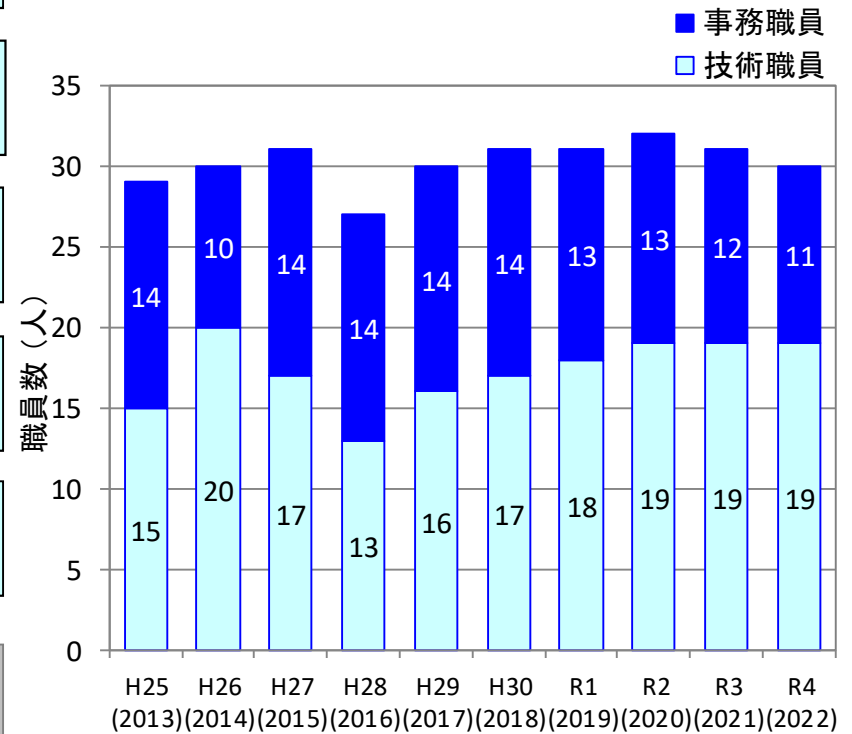


3. 水道の状況等

- 職員数は近年横ばい。



職員数の推移(水道事業)



※嘱託職員・臨時職員を除く

出典：京田辺市水道ビジョン（R4.3一部改訂版）p32 図3.22 京田辺市上下水道部 組織図

京田辺市水道事業経営戦略（R2.3）p17 図2.21 組織体制図〔平成30年（2018）4月1日〕

3. 水道の状況等

水源地

普賢寺を除き北東部の木津川沿いに集中している。

浄水場・受水場

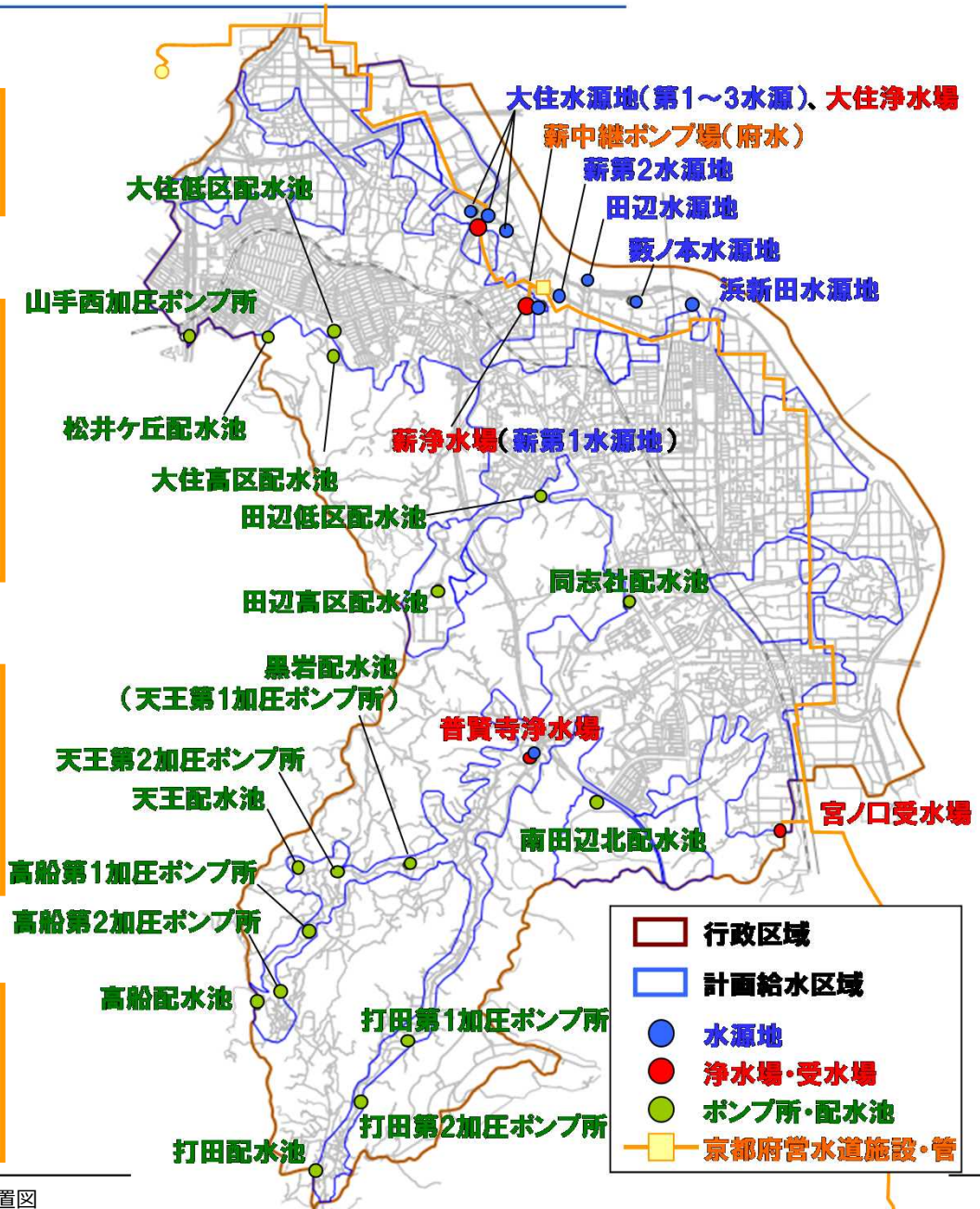
北東部の水源地に隣接して大住、薪浄水場がある（大住浄水場は将来水源地化予定）。
南部は京都府営水道を受水する宮ノ口受水場と山間部向けの普賢寺浄水場がある。

ポンプ所・配水池

配水池は標高の高い市の西側に点在している。
南部は特に標高が高いため複数のポンプ所を経由して配水池まで送水している。

府水施設・管

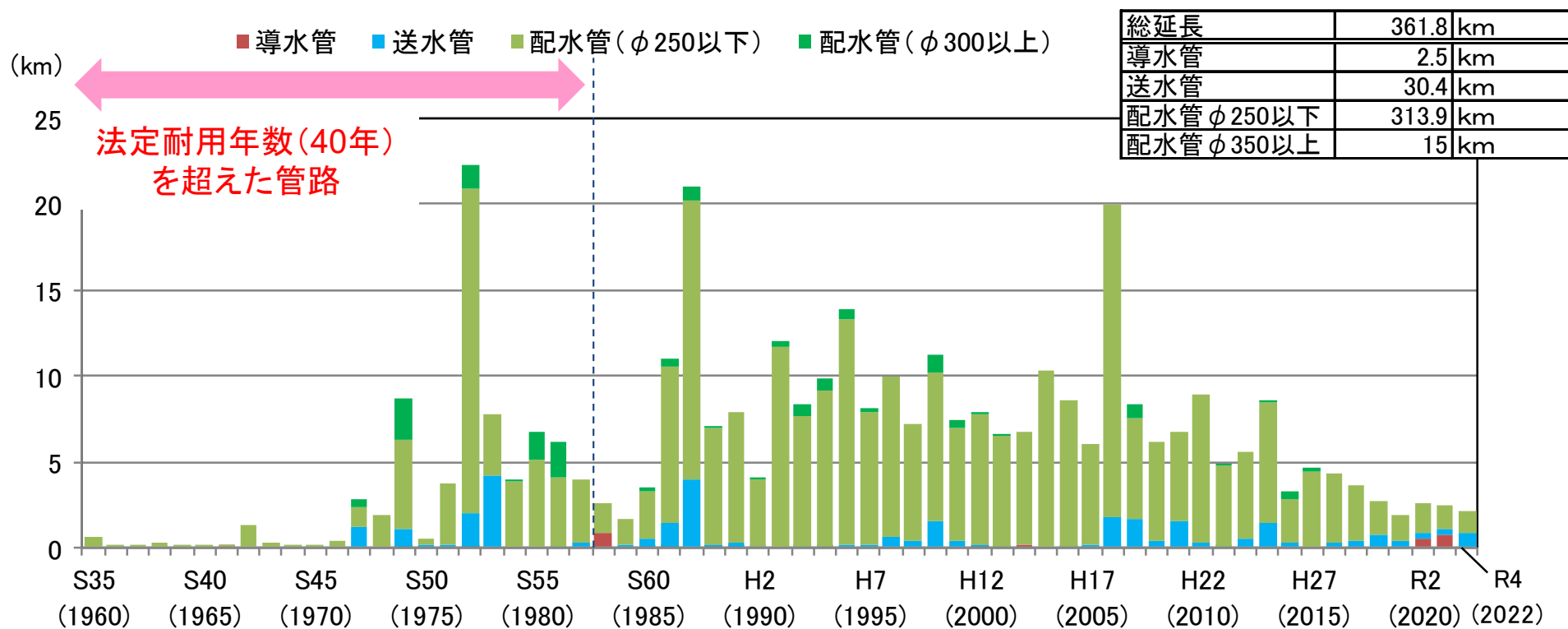
市の東側を京都府営水道送水管が通っており、薪浄水場と宮ノ口受水場にて受水している。



出典：京田辺市水道ビジョン（R4.3一部改訂版）p11 図2.7 計画給水区域と水道施設配置図
京田辺市水道事業経営戦略（R2.3）p4 図2.3 本市水道事業の施設配置

管路の布設年度別延長

- 現在布設されている管路は、主に1972（昭和47）年度以降である。
- 大規模宅地開発に伴って集中的に布設された年度がある。
- 法定耐用年数（40年）を超えた管路の割合は20%程度である。



参考：京田辺市水道事業経営戦略（R2.3）p8 図2.8 布設年度別での管路延長